

令和元年度 事業報告

本会は、鎌ヶ谷市における地域福祉の推進の中核的な役割を果たすため、地域住民の多様な福祉課題や潜在的な福祉ニーズの解決に向けて、福祉関係者及び行政機関等からの協力を得ながら、事業計画に基づき各種事業に取り組んでまいりました。

今年度の重点目標の生活支援体制整備事業については、新たに2地区(南部地区・西部地区)の協議体を設置し、生活支援コーディネーターも配置するなど、住民によるたすけあい活動に取り組み、地域包括ケアシステムの一躍を担えるように努めました。

昨年度に引き続き、若い世代向けの「赤ちゃん和妈妈との防災講座」や人生の終末期に備えるための「終活セミナー」を開催することで、市民が安心して暮らせる機会を提供することが出来ました。

また、千葉県内に甚大な被害をもたらした台風・大雨による自然災害が発生した際には、多くの社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを設置しました。

本会では、社協職員を4市1町へ延べ15回18人被災地社協へ派遣し、その運営支援に携わり、災害時の対応を学びました。

今年2月には、指定感染症として定められた「新型コロナウイルス感染症」の影響により、感染拡大防止の観点から、本会の福祉事業の中止及び縮小を余儀なくされ、法人運営面においても、理事会及び評議員会は、書面による決議となりました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、減収や失業等により生活が困窮し、日常生活の維持が困難になった市民に対し、千葉県社会福祉協議会の受託事業である生活福祉資金(緊急小口資金特例・総合支援資金特例)の貸付相談及び申請対応について、本会が窓口となり、貸付業務を遂行いたしました。

令和元年度に実施した事業につきましては、下記のとおりです。

1 法人運営

(1) 会務運営

◎理事会

第1回 令和元年6月4日(火)

- ・平成30年度事業報告について
- ・平成30年度決算について
- ・評議員候補者の推薦について

- ・令和元年度定時評議員会開催について

第2回 令和元年6月20日（木）

- ・会長、副会長の選定について
- ・心配ごと相談所設置運営規程の一部改正について

第3回 令和元年12月20日（金）

- ・評議員候補者の推薦について
- ・職員給与規程の一部改正について
- ・定款施行細則の一部改正について

第4回 令和2年3月16日（月）

- *新型コロナウイルス感染症拡大防止ため開催中止。（書面決議）
- ・寄付者の表彰について
- ・評議員選任・解任委員会委員の選任について
- ・令和元年度補正予算について
- ・令和2年度事業計画案について
- ・令和2年予算案について
- ・令和元年度第2回評議員会開催について

◎評議員会

第1回（定時） 令和元年6月19日（水）

- ・平成30年度事業報告について
- ・平成30年度決算について
- ・理事及び監事の選任について

第2回 令和2年3月26日（木）

- *新型コロナウイルス感染症拡大防止ため開催中止。（書面決議）
- ・令和元年度補正予算について
- ・令和2年度事業計画案について
- ・令和2年度予算案について

◎内部監査 令和元年5月24日（金）

- ・平成30年度事業報告について
- ・平成30年度会計決算諸表 について

(2) 社協会費の納入状況

①一般会費 9, 223, 297円 (48自治会)

②法人会費 496, 000円 (94件)

③施設・団体会費 293, 500円 (60件)

合 計 10, 012, 797円

○自治会へ福祉事業費として、2, 281, 000円を支出し、地域活動の推進に寄与した。

(3) 啓発事業

- ・ホームページについては、リニューアルを行い、地区社協事業のイベント情報や新着情報を随時掲載できるようになり、各種社協事業の情報発信に努めた。
- ・広報紙「鎌ヶ谷社協だより」を年3回発行し全戸配布した。内1回は紙面数を増やすなど、社協事業の啓発に努めた。
- ・社協各種事業の利用促進及び啓蒙活動について、パンフレット及びチラシ等を活用し、行政・関係機関等へ配布した。

(4) 市民・学校・福祉団体等への支援

- ・市内で火災による災害が1件、台風豪雨災害による半壊及び床上浸17件発生したため、計18件の見舞金を交付した。
- ・法外援護費（帰宅旅費）を6名に払出した。
- ・民生委員児童委員協議会事務局として、会務の運営、専門部会活動への協力及び関係行政機関との連絡調整に努めた。特に、当該年度中には3年に一度の一斉改選があり、新旧委員への調整を図った。また、千葉県民生委員児童委員協議会が主催する研修会等への参加を積極的に図るなど、民生委員児童委員の資質の向上に寄与した。
- ・遺族会の会務運営に協力した。
- ・民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会等、福祉関係団体に480, 000円を助成し、その活動を支援した。
- ・市内全小中学校（14校）に福祉活動助成金として、一校当たり、50, 000円を助成し、福祉教育（校内環境美化、高齢者との交流、福祉募金活動等）の支援に努めた。
- ・福祉健康フェアの開催に協力した。（入場者数約2, 100名）
- ・すまいる祭りを開催した。（275名参加）

- ・制服リユース事業を実施した。(提供者49名 292点、利用者114名 191点)

- ・人生の終末期に備えるための終活セミナーを4回シリーズで実施した。
(900名参加)

第1回 私のために、家族のために

～エンディングノートの書き方～ 250名参加

第2回 普通の人が要注意！相続と遺言の落とし穴 220名参加

第3回 知って納得！介護保険と社会福祉協議会

～人と人との出会いから豊かな地域へ～ 200名参加

第4回 在宅でみる終末期医療 230名参加

(5) 災害支援

- ・台風15号・19号、その後の大雨による甚大な被害を受けた千葉県内4市1町(南房総市・木更津市・館山市・富津市・鋸南町)の社協が設置した、災害ボランティアセンター運営支援のため、本会職員を派遣した。(派遣延べ回数15回18人)

(6) 東京2020オリンピック・パラリンピック関連

- ・広報紙「鎌ヶ谷社協だより」に、シリーズ～東京2020年、千葉県にオリンピック・パラリンピック競技大会がやってくる～の記事を毎回号掲載し、パラリンピックへの関心と競技種目へのPRを行った。
- ・パラリンピック競技種目である「ボッチャ」一式を貸し出し、学校などの教育現場や障がい者団体、福祉団体の交流の場など、誰もが広くスポーツでふれあえる体験会などを行った。
- ・千葉県の企画に賛同し、大会期間中に訪れる外国人向け記念品グッズの「折り紙」作品を作るため、市民のボランティア体験学習の特別企画として、《折るだけボランティア》を募集した。

(7) 福祉教育の推進「パッケージ指定方式」

- ・千葉県の福祉教育推進指定を受け、2年目をむかえた南部小学校、第四中学校、鎌ヶ谷西高等学校及び南部地区社会福祉協議会と共に推進連絡会議に出席し、共通取組と掲げた「鎌ヶ谷の合唱曲」の作成や各団体事業への相互参加などができるように支援した。

2 地域福祉事業

(1) 地区社会福祉協議会事業

地域福祉活動の中核的組織として、高齢者から子どもまでの地域住民を対象とした事業を、6地区ごとに広報、ふれあい交流、在宅福祉、ボランティア育成などの各委員会が中心となり展開した。

○ 中央地区社会福祉協議会

	事業名	内 容
広 報 啓 発	地区社協広報紙 福祉健康フェア	・「まごころ」(約5,800部)を年2回発行予定だったが、3/31発行「まごころ60号」は新型コロナウイルス感染防止の為延期。 ・広報誌を展示し、啓発に努めた。
ふ れ あ い 交 流	茶話会	・70歳以上の方を対象に、バス旅で航空博物館・多古あじさい館見学、健康指導・体操、わなげや玉入れなどのゲームを行い、「新年会」ではハーブ三重奏鑑賞等で交流した。 (年5回延べ215名参加) 3/24の茶話会は新型コロナウイルス感染防止の為中止。
在 宅 福 祉	介護予防教室 お年寄りとの交流会	・地域の方を対象に体操教室やウォーキングを実施した。 (年2回延べ107名参加) 3/6のウォーキングは新型コロナウイルス感染防止の為中止。 ・ひとり暮らしの高齢者を対象に、4つの地域で各援護グループの協力を得て、交流会を実施した。 (年6回延べ309名参加) 3/25の町組アシスタンスグループ交流会、むらさき会交流会が、新型コロナウイルス感染防止の為中止

ボ ラ ン テ ィ ア 育 成	鎌ケ谷中学校 JRC 委員会と地域の方との交流会	・ 鎌中 JRC 委員会の生徒と地域の方とで、ボッチャの体験をして交流を図った。 (52 名参加)
	ボランティア研修会	・ 運営委員や一般の方を対象に、手話教室を実施した。 (年 2 回延べ 38 名参加)
実 行 委 員 会	ふれあいサロン	・ 月に 1 回、地域の高齢者や小さな子ども連れの親子など、「誰でも気軽に集える場所」を目指しサロンを開催した。(年 11 回延べ 373 名参加) 3/3 のサロンは、新型コロナウイルス感染防止の為に中止。

◎見守りパトロール〈通年、4 委員会で月毎に実施しているが、3 月の見守りパトロールは、新型コロナウイルス感染防止の為に中止。〉

◎鎌ケ谷中学校の行事招待状配布に協力した。(高齢者との交流)

○ 中央東地区社会福祉協議会

	事業名	内 容
広 報 啓 発	地区社協広報紙 福祉健康フェア ホームページ	・ 「おもいやり」(5,500 部)を年 2 回発行。 ・ 地区社協広報紙を展示し啓発に努めた。 ・ ホームページに掲載し、地区社協事業等の啓発に努めた。
ふ れ あ い 交 流	ひょうたん祭り 地区ふれあい祭り バス研修 防災備品点検 発電機点検	・ 模擬店(焼きそば・綿菓子) ・ 高齢者、障がい者、子どもを対象にクリスマス会を実施した。(230 名参加) ・ 台風被害のため中止。 ・ 防災備品の確認をした。(21 名参加) ・ 作動確認を年 2 回実施した。(10 名参加)

在宅福祉	介護予防教室	・地域の方を対象にウォーキング講習・健康体操・歯科・栄養の講義を実施した。 (年6延べ187名参加)
ボランティア育成	ボランティア支援活動 青少年福祉活動① 青少年福祉活動② 五本松小ふれあい会	・地域の特別養護老人ホームにおいて、定期的にボランティア活動「シーツ交換」を行った。 (年9回延べ126名参加) * 3月は新型コロナウイルス感染症予防の為に中止 ・昔あそび体験教室 (29名参加) ・初富、五本松小学校、第五中学校の児童生徒が、ひとり暮らしの高齢者の方を対象に年賀状を出す事業を実施した。(58名参加) ・五本松小学校2年生と高齢者との交流会(昔あそびと給食)を実施した。(19名参加)
部会活動	サロン事業 (翔友会)	・七夕飾り・ゲーム・きりり体操などを行った。 (年8回延べ319名参加) * 2月・3月は 新型コロナウイルス感染症予防の為に中止
その他	運営委員研修会	・運営委員、地区ふれあい員、民生委員児童委員、援護グループ・南初富自治会長・東1区単位自治会長を対象に「支え合いの地域づくりをめざして」研修会を実施した。(67名参加)

○ 東部地区社会福祉協議会

	事業名	内 容
広報啓発	地区社協広報紙 チラシの発行 福祉健康フェア	・「ふれあい」(8,300部)を年2回発行。号外版(事業計画掲載)を1回発行。 ・子どもの見守り啓発チラシを年3回発行。 ・地区社協広報誌を展示し、啓発に努めた。

地域交流	東部ふれあいまつり ふれあい福祉まつり 移動児童館 東部リフレッシュラテアート 交流バスハイキング	・利用団体サークル発表会に参加。(1,741名参加) ・午前は老人クラブ、談話室の発表、午後は楽器を楽しむ会、ドランカーズの演奏。(869名参加) ・道野辺小、東部小の児童を対象に移動児童館事業に協力した。(年4回延べ269名参加) (3月は新型コロナウイルス感染防止の為に中止) ・未就園児の子育て中の母を対象に、子育て支援事業に協力した。(親子8組参加) ・閉じこもりがちな高齢者を対象に、ファンケル美健、道の駅いちかわを見学した。(40名参加)
健康福祉	ミニリハビリ ほのぼの会 ふれあいサロン「すみれ」	・障がいのある方や高齢者を対象に、血圧測定、体操、ゲーム等を行った。(年7回延べ292名参加) (3月は新型コロナウイルス感染防止の為に中止) ・誰でも気軽に立ち寄れる交流の場(おしゃべり・お茶飲み等)を提供した。(年10回延べ463名参加) (2月は新型コロナウイルス感染防止の為に中止)
育成研修	地区ふれあい員研修 福祉講座 青少年育成	・地区ふれあい員委嘱式、避難行動要支援者避難支援制度について。社会福祉課協力(180名参加) ・車いす・アイマスク体験を実施した。(57名参加) ・東部小、道野辺小学校児童を対象に「手作りおもちゃで遊ぼう」を実施した。(109名参加)
その他	東部地区懇談会 ジュニア防災キャンプ ごみの分け方・出し方講習会	子育て支援について。こども総合相談室長協力 ・東部地区学校関係者、幼稚園、保育園、健康増進課、民生委員児童委員主任児童委員、各自治会長、地区社協役員等と地区懇談会を開催した。(26名参加) ・第二中学校運動部男女生徒等による、一泊二日の避難生活体験学習。(50名参加) ・東部地区合同でゴミ分別出張講座を実施した。(42名参加) ・地域のボランティアを募った。(地域支援つなぎ隊ボランティア登録者数33名)

○ 西部地区社会福祉協議会

	事業名	内 容
広 報 啓 発	地区社協広報紙 福祉健康フェア	・「あけぼの」(3,600部)を年2回発行。 ・号外版(事業計画掲載)を1回発行。 ・広報紙「あけぼの」を掲示し、啓発に努めた。
地 域 交 流	炊き出し訓練 昔遊びの会 サロン「梨の花」 子育て支援事業	・炊き出し訓練として、豚汁の振る舞いを実施した。〈西部地区ふれあいまつりと同時開催〉(90名参加) ・くぬぎ山児童センター事業に協力し、こま、けん玉、かるた等を行った。(51名参加) ・地域のコミュニティ作りの場としてサロン「梨の花」を開催。今年度より北初富地区でも開催開始。(年5回延べ247名参加) ※3月開催分は、新型コロナウイルス感染防止の為に中止 ・くぬぎ山児童センターと共催し「赤ちゃんとママの防災講座」を開催(41名参加)
在 宅 福 祉	オレンジ交友会 (認知症予防の会) 高齢者支援教室 在宅介護者のつどい	・脳トレ、ゲーム等を実施した。(年5回延べ202名参加) ※3月開催分は、新型コロナウイルス感染防止の為に中止 ・「終活セミナー」を実施した。 ・栄養士による栄養指導、歯科衛生士による口腔ケア指導を実施した。(年2回延べ65名参加) ・介護をしている方の悩みごとを話し合い。 ・アロマセラピーでリラックス(年2回延べ48名参加)
ボ ラ ン テ イ	体操講習会 バス研修	・地域の方を対象に国際武道大学の先生を招いて講習会を実施した。(年1回48名参加) ※3月開催分は、新型コロナウイルス感染防止の為に中止 ・運営委員と地区ふれあい員、地域の高齢者を対

ア 育 成	わかば (健康作りの会) 講演会	象に、JFEスチールを見学した。(38名参加) ・講師による体操教室を開催した。(年4回延べ163名参加) ・西部小学校・PTAと共催にて、「障がい者スポーツデリバリー講座」を開催した。(197名参加)
そ の 他	ミニリハビリ教室 (こぶしの会) 地域交流会	・くぬぎ山地区の70歳以上の方を対象にカラオケ、ゲーム、脳トレ、血圧測定等を実施した。(年9回延べ434名参加) ・自治会役員、民生主任児童員、地区ふれあい員運営委員対象に支えあう地域づくりに向けての研修会を実施した。(70名参加)

○ 南部地区社会福祉協議会

	事業名	内 容
広 報 啓 発	地区社協広報紙 福祉健康フェア	・「なんぶだより」(約6,000部)を年2回発行。 ・「なんぶだより・特別号」新運営委員,新役員紹介号として(約6,000部)発行 ・地区社協広報誌を展示し、啓発に努めた。
在 宅 福 祉 事 業	体操教室 介護予防教室 高齢者バスハイキング 子育て支援 秋のおたのしみ会	・地域の方を対象に、健康体操を実施した。(年4回開催、うち3月は新型コロナウイルス感染防止のため中止 延べ152名参加) ・地域の方を対象にコグニサイズやチェアヨガを行った。(年4回延べ161名参加) ・一人暮らしの高齢者を対象に牛久大仏へ行った。(43名参加) ・南部公民館、南児童センター、地区社協との共催事業。未就学児の子供と親を対象に食育やストレッチを行った。(年3回延べ36組参加) ・談話室対象の交流会。寸劇を鑑賞し特殊詐欺についての知識を高めた。(77名参加)

	(災害時支援部会) 防災倉庫点検	・防災備品の使用確認等を行った。(23名参加)
	(地域交流部会) 南部ふれあいの集い 南部小オープンスクール 道野辺保育園交流 南児童センター交流 南部芸能交流大会 南部いきいきサロン 公民館まつりに参加 グランド・ゴルフ大会	・福祉推進事業に伴い、南部小学校の体育館にて地域の方々と南部小学校の5、6年生と共に「命の授業」を学んだ。(151名参加うち小学生89名) ・地域の方が講師となり南部小の子供達にフェルトツリー作り方や福祉マークについての授業を行った。(8名参加) ・花壇の手入れや園行事の参加をとおして園児との交流を図った。(年6回延べ15名参加) ・ありんこ春まつりのお手伝いとして協力。(3名参加) ・老人会を対象にカラオケや踊りの発表と交流の場として開催した。(老人会5団体 74名参加) ・どなたでも利用できる交流の場として喫茶コーナーを開設した。(年5回開催、うち3月は新型コロナウイルス感染予防のため中止 延べ99名参加) ・新型コロナウイルス感染防止のため中止 ・福祉推進事業に伴い鎌ヶ谷西高校と第四中学校の生徒にも参加してもらい地域の方々との交流を図った。(130名参加)
	(なんぶ孫の手会部会) 孫の手バス研修 子供発達センター「のびのびルーム」交流	・地域ボランティア(ゴミ出し207回、施設ボランティア39回、その他4回)活動を行った。(年間250回) ・新型コロナウイルス感染防止のため中止 ・運動会、懇談会、クリスマス会、卒園式等に参加した。(6名参加)

その他	慈祐苑の納涼祭支援	・入所者への負担や高温等の理由で縮小し開催。そのため車いす介助のボランティア協力は無し。
-----	-----------	--

○北部地区社会福祉協議会

	事業名	内 容
広報ふれあい交流	地区社協広報紙 サロン事業 (サロンほ・く・ぶ) おせんべい焼き	・「北部地区社協だより」(3,000部)を年2回発行。 ・異世代交流と気軽に立ち寄れる憩いの場の提供。少数ボランティアの演奏と歌、移動交番署員や市職員の講話等を行った。(年8回延べ230名) ・栗野コミュニティセンターにて地域の子ども達や父母との交流を目的に、炭で火を熾しておせんべいを焼いたり、駄菓子やドリンクの販売を行った。(119名)
在宅福祉	介護予防教室 友愛訪問	・ひとり暮らしの高齢者、高齢者世帯を対象に保健師による介護予防、高齢期からの食習慣の新常識についての講話、スポーツプログラマーによる軽体操、管理栄養士や理学療法士による糖尿病対策等の講話を実施した。(年3回延べ109名参加) ・ひとり暮らしの高齢者、高齢者世帯(421件)へ品物を持って訪問し、安否確認を実施した。
健康推進	健康体操 公開講座	・地域の方を対象に、健康づくりを目的に、健康運動指導士による腰痛・転倒等予防や軽体操を実施した。(年8回延べ224名参加) ・地域の方を対象に、医療講座、詐欺被害予防、認知症予防等についての講座を行った。(年7回延べ398名参加)

その他	福祉健康フェア	・ 地区社協活動の内容展示パネルを作成し、啓発に努めた。
	北部ふれあいまつり	・ 地区社協の活動内容のパネル展示、炊き出し用具等の災害備品展示を行った。(2,200名参加)
	地域交流会	・ 地区ふれあい員、民生委員、自治会役員を対象に横浜市民防災センターへ行き、研修等を行った。(45名参加)

(2) 生活支援体制整備事業(第2層協議体活動)

地域包括ケアシステムの一部である生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター設置業務委託事業＜実施主体：鎌ケ谷市＞）への取り組みとして、北部圏域と東部圏域に加え、南部及び西部圏域に第2層協議体を設置し、地域資源の開発やネットワークの構築などについて、話し合いを進めた。

圏域（協議体）	開催数	実施内容
北部圏域 (たすけあい活動あさか)	8回	地域で解決したい課題である「地域の繋がり希薄化」に対し、移動販売を使つての買い物支援を行うことで、地域に顔見知りを増やせるようにした。 同時に、買い物支援として地域の需要に応じ、移動販売の駐車場所（販売場所）を増やした。
東部圏域 (東部地区第2層協議体)	7回	地域で解決したい課題とした「活用しやすい相談先一覧」について、「お助け電話帳」を発行した（東部圏域内自治会による全戸配布）。自治会未加入者に対しても情報が届くよう、行政機関などにも配布の協力を依頼した。
南部圏域	4回	地域の特性を把握するため、2つのグループに分かれて付箋を使い、課題の抽出を行った。話し合いの結果、「移動に関すること」「閉じこもりがちな高齢者」「常設型のサロン」について議論していくこととなった。

西部圏域	1 回	第一回の顔合わせを実施し、協議体の役割や現状への考えなどを自由に述べ合った。(第2回以降は新型コロナウイルス感染防止の為会議を中止した。)
------	-----	---

3 ボランティアセンター事業

市内のボランティア活動の拠点として、ボランティアにかかわる相談、連絡、調整、育成をはじめ、市民を対象にしたボランティア体験、各種講座等、ボランティア活動の推進に努め、ボランティア団体への支援や市内福祉団体等からの依頼により、福祉をテーマとした講座にも協力した。また、総合福祉保健センターを会場に災害ボランティアセンター立ち上げ訓練(2月1日：85名参加)を実施した。

①相談・活動状況

相談件数	4,097 件
斡旋件数	694 件

②登録状況

ボランティア団体 (37 団体)	922 名	災害ボランティア保険加入者 (42 名)
個人ボランティア	182 名	
合 計	1,104 名	

○事業の内容等

事業名	開催日	参加者
ボランティア入門講座	6月14日	83名
市民ボランティア体験講座 (前期8コース・後期8コース・特別企画)	7月13日～8月23日 (前期) 1月28日～2月22日 (後期) 1月～ (特別企画)	31名 15名 132名
夏休み福祉体験(8コース)	7月27日～8月8日	55名
災害ボランティア養成講座 (赤ちゃんともまの防災講座)	7月25日	64名 同伴児 54名
ボランティア活動スキルアップ講座	1月24日	94名

○講師派遣

事業名（依頼先等）	開催日	参加者
子育てサポーター養成講座（こども課）	5月29日 10月4・9日	5名
認知症サポーターレベルアップ講座（高齢者支援課）	8月29日	40名
ブックスタート事業（健康増進課）	9月27日	14名

○福祉講座等協力

事業名（依頼先等）	開催日	参加者
手話講座①（中央地区社協・ボランティア推進委員会）	5月18日	20名 ボランティア9名
ボッチャの指導（南部小学校3年・友和園）	6月10日	児童39名 ボランティア8名
手話講座②（中央地区社協・ボランティア推進委員会）	6月22日	20名 ボランティア9名
手話講座（東部シニア倶楽部）	8月7日	41名 ボランティア8名
手話講座（西部地区社協 こぶしの会・すずらんの会）	9月4日	50名 ボランティア10名
手話講座（友輝建設株式会社）	9月13日	5名 ボランティア3名
手話講座（南部小学校オープンスクール）	9月28日	27名 ボランティア4名
アイマスク体験（初富小学校5年）	11月7日	児童90名 保護者協力12名 ボランティア10名
手話講座①（初富小学校手話クラブ）	11月26日	児童3名 ボランティア3名
手話講座①（道野辺小学校 JRC 委員会）	1月14日	児童17名 ボランティア6名

車いす・アイマスク体験(東部地区社協 育成研修委員会)	1 月 18 日	57 名 ボランティア 10 名
手話講座②(道野辺小学校 JRC 委員会)	2 月 4 日	児童 17 名 ボランティア 3 名
手話講座 (初富小学校 JRC 委員会)	2 月 4 日	児童 18 名 ボランティア 3 名
車いす・アイマスク体験(中部小学校 5 年)	2 月 20 日	児童 141 名 保護者協力 10 名 ボランティア 10 名

○福祉用具の貸出

備品名	貸出件数	貸出先
車いす	27	個人・小学校・福祉団体・地区社協
高齢者疑似体験セット	12	企業・高齢者施設・小学校・病院
ボッチャゲームセット	15	小学校・福祉団体・地区社協

4 在宅福祉サービス事業

(1) ふれあいサービス

高齢者や心身に障がいのある方、子育て中の方が日常生活でお困りのとき「利用会員」となり、地域の中から参加した「協力会員」が家事援助等のサービスを有料で提供する会員制の相互扶助の福祉サービスを実施し、利用会員の自立を目標に、在宅福祉の増進に努めた。

○活動状況

協力会員	登録者人数	40 名
	活動人数	38 名
利用会員	登録者人数	65 名
	・安心登録人数	12 名
	・休止・中止人数	14 名
	・利用人数	39 名
延活動利用回数		879 回
延活動利用時間数		1,283 時間

○協力会員の研修会

内 容	開催日
協力会員登録・更新説明会 講義「悪徳商法の被害防止と手口を知る」	4 月 9 日
講義「対人援助活動に役立つ傾聴の基本」 実習「事例に基づくグループワーク」	6 月 27 日
講義「食中毒などの予防・高齢期の健康のポイント」 調理実習「お年寄りに喜ばれる食事づくり」	7 月 19 日
講義「幼児期の栄養について」 調理実習「子供に喜ばれる食事づくり」	10 月 8 日
講義「子どもとのコミュニケーションづくり」 説明「さまざまな相談窓口」	11 月 11 日
講義「産後うつへの対応について」 実習「新生児への対応」	1 月 28 日

参加延人数 104 名

(2) 在宅介護者のつどい

在宅で身体の障がいや認知症等により、要介護状態にある家族等を介護している方を対象に、リフレッシュ事業を開催し日頃の介護疲れを癒し、介護者同士の情報交換の場として、月 1 回実施した。

また、高齢者支援課の協力により健康面などの相談を行った。

○事業の内容等

内 容	開催日
介護体験等意見交換	4 月 11 日
詐欺被害寸劇	5 月 15 日
バスハイク「東松戸ゆいの花公園・さかえ屋松飛台工場」	6 月 14 日
チェアヨガ	7 月 16 日
手工芸「絵手紙作り」	8 月 22 日
調理実習「暮らしに役立つ調理実習」 講義「寝たきりにならないために栄養面からできること」	9 月 12 日

講義「災害への備え」 実習「災害時に簡単に作れる日常品を作ろう」	10月21日
手工芸「スクラップブックで思い出の写真を飾ろう」	11月15日
クリスマス会「ピアノコンサート」	12月18日
新年交流会「ニューイヤーコンサート」	1月21日
手工芸「貝で作るお雛様」	2月13日
新型コロナウイルスの流行に伴い、中止	3月

参加延人数 139 名

○地区別「在宅介護者のつどい」

- ・在宅介護の現場で介護する家族の孤立を予防する一助として、西部地区社協の協力により地区懇談会を実施した。(年2回開催)

5 相談事業

- (1) 心配ごと相談（毎週水曜日 10:00～14:00）開催日数は46日であり、民生児童委員10名、学識経験者4名で相談にあたった。
- (2) 心の相談（毎週月曜日、金曜日 10:00～15:00）開催日数は91日であり、カウンセラー3名で相談にあたった。

○相談内容・延べ件数

	相談内容	心配ごと相談		心の相談	
		来談	電話	来談	電話
1	生計問題	1	2	0	0
2	年金問題	0	0	0	0
3	職業・産業問題	0	2	0	0
4	住宅問題	0	2	0	0
5	家族問題	13	12	42	56
6	結婚問題	0	0	0	0
7	離婚問題	0	0	0	0
8	健康・衛生問題	0	2	3	2

9	医療問題	0	1	0	0
10	精神衛生問題	1	1	4	3
11	人権・法律問題	0	1	0	0
12	財産問題	1	0	0	0
13	事故問題	3	0	0	0
14	児童福祉・母子保健問題	0	0	0	0
15	教育・青少年問題	0	0	0	0
16	心身障がい者（児）福祉問題	0	1	0	0
17	母子・父子福祉問題	0	0	0	0
18	老人福祉問題	2	2	0	0
19	苦情問題	0	0	0	0
20	その他	0	0	1	3
	合計	21	26	50	64
	総合計	47		114	

○相談員研修会

相談員を中心に社協職員研修を兼ね日頃の相談業務に役立つ研修会を開催した。

開催日	令和元年12月5日
講師	鎌ヶ谷市基幹相談支援センター えがお 所長 渡辺 恵美子 氏
内容	講義 「精神障害者への理解」 ～基幹相談支援センターの相談を通じて～

6 資金貸付事業

◎総貸付相談件数 225件（延べ件数339件）

（1）福祉資金（鎌ヶ谷市社協独自の貸付）

○低所得世帯で一時的に生活等が困難な世帯への貸付。

・貸付決定額 40,000円（2件）

○年度末貸付額 259,400円 <社会福祉課取扱い(要保護世帯)>

(2) 生活福祉資金等(受託事業〈実施主体:(福)千葉県社会福祉協議会〉)

○低所得世帯、身体障害者世帯等の自立更生、生活の安定を図るための貸付。

・貸付申請(決定)額 2,566,000円(11件)

資金種類		貸付決定額	件数
福祉資金	福祉費(保護世帯必需品1、災害援護費1)	1,070,000	2
福祉資金	緊急小口資金 (初回給与3、傷病手当2、初回年金1、治療期間給料1)	660,000	7
教育支援資金	教育支援費(大学1)、就学支度費(高校1)	836,000	2

※新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減った世帯に対して、急遽(3/25受付開始)資金の貸付事務を行った。

・緊急小口資金(コロナ特例貸付)300,000円(2件)

○台帳移管事務:転入(教育支援資金〈船橋市〉)1,280,000円

転入(教育支援資金〈習志野市〉)896,000円

○生活福祉資金等の貸付後の状況

・年度末償還中件数 123件(総合支援60.福祉(福祉17.緊急小口17).教育支援23.離職支援3.復興支援1.コロナ特例2)

・年度末据置期間中件数 22件(福祉(福祉2.小口3).教育支援15.コロナ特例2)

・平成31年4月～令和2年3月間の償還率は12.11%

(3) 償還を促す指導等

○「償還残高のお知らせ」等の送付(年4回)〈借受人、連帯借受人、連帯保証人、担当民生委員〉

○督促状、請求書等の送付及び法的措置の依頼((福)千葉県社会福祉協議会及び本会より)

- 法的措置（簡易裁判所の支払督促 5 件）
- 借受世帯への居住確認と償還指導（318 件）

7 地域福祉権利擁護事業（受託事業〈実施主体：（福）千葉県社会福祉協議会〉）

（1）日常生活自立支援事業

地区社協や民生児童委員、介護事業所や地域包括支援センター、福祉行政機関等に対して、事業の啓発活動を行った。また福祉サービスの利用手続きや、日常生活の金銭管理等を行うことが難しい状況にある高齢者や障がい者等の生活を安定させるための相談受付及び契約業務を次のように取り扱った。

①相談・訪問調査等

区 分	新規相談受付人数	契約者相談・訪問調査延べ回数
高齢者	4	263
知的障がい者	1	0
精神障がい者	10	177
上記以外	2	25
合 計	17	465

②利用契約件数

区 分	件 数
高齢者	6
精神障がい者	6
その他	1
合 計	13

＊内、新規契約 3 件

③生活支援員状況

区 分	人 数
登録者	2
現任者（活動者）	8
合 計	10

④生活支援員研修会

県内及び当市の利用状況や日常生活自立支援事業への理解と協力について、生活支援員同士で確認し合った。(令和2年2月19日開催)

⑤関係機関連絡会

日常生活自立支援事業への理解と権利擁護問題に関して、行政及び相談支援センターと相互に連携及び情報共有の場として、会議を開催した。(令和2年2月19日開催)

(2) 成年後見制度の啓発事業

①成年後見制度・遺言相続個別相談会

将来に備え、成年後見制度の利用及び遺言相続について司法書士の協力を得て、相談会を開催した。(協力：公益財団法人社団法人成年後見センター・リーガルサポート千葉県支部)

期 日	会 場	相談件数	相談内容
8月29日	市社協・相談室	4	① 相続・遺言について ② 成年後見制度の利用等 ③ 遺言書の書き方
9月10日	市社協・相談室	3	① 相続・遺言等 ② 成年後見制度の利用等

8 善意銀行

○寄付金総額 2,334,583円(37件)

①金銭の払出し (円)

払 出 先	金 額	備 考
地区社協	437,543	助成金
鎌ヶ谷市防災訓練	12,960	訓練に関するPRグッズ配布
ボランティア・福祉団体等	700,945	目的別寄付
中学校	67,022	児童生徒への支援
要援助者支援	96,200	災害見舞金等、帰宅旅費等

災害用備品	181, 178	災害ボランティアセンター用備品
合 計	1, 495, 848	

○寄付物品（５件）

②物品の払出し

払 出 先	物 品 名	備考
福祉施設等	タオル・雑巾	
高齢者給食	米	
発達センター等	焼き菓子	
すまいる祭り	クリスマス菓子	
福祉作業所友和園	中古車	

９ 受託事業（実施主体：鎌ケ谷市）

（１） 福祉作業所友和園（指定管理者制度）

法定事業所（就労継続支援Ｂ型と生活介護）の多機能型事業所として、心身に障がいがあるため就職困難な方に対し、社会生活における適応性を高める指導を行った。所員の定員は就労継続支援Ｂ型２０名（在籍は１８名）、生活介護１０名（在籍１２名）であった。

生活指導の面では、社会自立、身辺自立に必要な基本的な生活習慣が身に付くように、月例行事などいろいろな機会をとおして、具体的な指導を行った。

特に就労継続支援においては、知識、技能及び就労態度を養うための指導を行い、また作業指導の面では、ラベル貼り、タオル袋入れ、かぶの袋入れ、封入作業等の簡易作業や地域新聞の配達、公園の清掃、花壇の手入れ、アルミ缶・ペットボトルキャップ回収の作業を行った。

また、自主生産として、手芸品、紙すき製品などを作り販売した。工賃収入として、１，５０３，０２２円であった。

その他、作業所の円滑な運営を図るため、保護者会を２回、個別支援計画の確認のため、個別面談を２回実施した。さらに、広報「ゆうわ」を４回発行し施設内外の情報提供に努めた。

（２） 地域福祉センター（指定管理者制度）

地域福祉活動の拠点となる、総合福祉保健センター内の地域福祉センター（大会議室〈年間利用２６６回〉、団体活動室〈年間利用３０８回〉、調理室等）の貸出し業務を行った。

１０ 共同募金運動

（１）赤い羽根募金（１０月～１２月実施） (円)

区 分	募金団体等	募金額
戸別募金	48 自治会	5, 105, 529
学校募金	市内小、中学校、高等学校	152, 648
法人募金	商店、会社等 274 件	854, 500
その他募金	職域、個人、団体等	173, 011
合 計		6, 285, 688

※ 赤い羽根募金は全額、千葉県共同募金会に送金し、翌年度の事業費として約７０％の配分を受ける。

（２）歳末たすけあい募金（１２月実施）

○収入 (円)

区 分	募金団体等	募金額
戸別募金	48 自治会	3, 447, 284
その他募金	法人、個人、団体等	165. 809
合 計		3, 613, 093

○配分 (円)

事業名	内容	金 額
生活困窮者見舞金支給事業	要援護世帯へ見舞金支給	1, 284, 000
緊急的生活支援事業	困窮世帯への食料等支援・要援助者へ卓上カレンダー配布	226, 737
福祉ニーズへの支援事業	社協啓蒙活動・制服リユース管理・こどもの学習支援	299. 430

災害関連事業	災害ボランティアセンター 立ち上げ訓練・災害ボラン ティア養成講座・災害用品 等の整備	439.057
社会福祉施設助成金 事業	高齢者・障害者・児童福祉 施設・小規模作業所等へ助 成	750,000
福祉関係団体助成金 事業	当事者団体・学校等の年末 年始福祉イベント等へ助成	420,000
地域・在宅福祉事業	障がい者福祉イベント・在 宅福祉活動等	143.943
合 計		3.563.167

(3) 義援金の募集

- ・令和元年台風15号・19号、大雨千葉県災害義援金を募集し、千葉県共同募金会へ送金した。(送金累計額386,520円)

(4) 災害見舞金の交付

- ・令和元年台風15号・19号、大雨による半壊13件及び床上浸水4件、火災による全焼1件(重症1件)について、災害見舞金を交付した。

(5) 車両の交付

- ・社会福祉協議会に対し、地域福祉活動に使用する車両として、千葉県共同募金会より車両1台が交付された。

令和元年度 事業報告の附属明細書

令和元年度事業報告には、社会福祉法第45条の2第2項に規定する附属明細書については、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和2年5月

社会福祉法人 鎌ヶ谷市社会福祉協議会